

株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.

[info@aji-cle.co.jp](mailto:info@aji-cle.co.jp)

<https://www.aji-cle.co.jp>

2020年1月19日

## 東京商工リサーチ TSR 情報（全国版）2020 新春特集号

東京商工リサーチが厳選する優良企業紹介「経営者に訊く企業特性と今後の成長戦略」

への当社記事の掲載について

株式会社アジクル（以下「当社」）は、この度、2020年1月に発行された 東京商工リサーチ TSR 情報（全国版）2020 新春特集号 における『東京商工リサーチが厳選する優良企業紹介「経営者に訊く企業特性と今後の成長戦略」』に掲載されました。

記事の中では、当社の特長の紹介とともに Bangladesh の可能性について言及しています。

同記事が当社及び Bangladesh、延いては新興国市場（エマージング・マーケット）の理解の一助となることを期待しております。

日本国内市場の限界を感じながら海外市場へどうアプローチしていいかわからない、海外市場調査を任せられる人材がいなくて困っている、海外市場へ進出したいが先進国、東南アジアなど既に中国、韓国といった海外進出に積極的な国の企業との競合で悩んでいる、といった企業においては、“まだどの国、企業からも触れられていない（Un-tapped）”市場が多く残る新興国への進出を検討されてはいかがでしょうか？

東アジア、東南アジア、南アジアにおいて、人口が1億人を超える国は、中国、インド、インドネシア、パキスタン、Bangladesh、日本、そして最近人口1億人超国の仲間入りしたフィリピンの7カ国です。一方で、これらの国のうち日系企業数が1,000社未満なのが、パキスタン（74社）、Bangladesh（279社）の2カ国で、Bangladeshは政教分離の政治体制を採る民主主義国家という点で、日本企業にとって比較的進出しやすい環境にあると言えます。

当社は、Bangladesh向け進出に際しての有効かつ効率的な方法を提案いたします。

アジクルは、人と人、事業と事業をつなぐ媒介“Vehicle”となります。

以上

# 金融を通じてよい循環を作るための アジアのビークル (媒介、手段) に



## 株式会社アジクル

代表取締役

わたなべ たいすけ  
渡辺 太一

### Profile

一橋大学法学部卒。2004年明治安田生命企画部調査G以来、新銀行東京、フコクしんらい生命、富国生命にて経営企画、事業戦略に従事。2016年同社設立。2018年第1回日経ソーシャルビジネスコンテスト・ファイナリスト。

2006年ノーベル平和賞受賞者、グラミン銀行創設者のムハマド・ユヌス氏とともに、ダッカのグラミンタワー内の同氏オフィスにて。

## バングラデシュでの マイクロ保険事業

株式会社アジクルは、2016年に個人会社として設立。事業内容としては、新興国でのマイクロ保険事業の開発、具体的にいうと現在はバングラデシュで貧困層向けに低価格・低コストで提供するマイクロ保険事業を進めています。

これまで15年以上保険会社、銀

行で経営企画に従事しており、2012年より海外事業戦略を担当する中で、国際協力機構 (JICA) の民間連携事業のもと、バングラデシュでのマイクロ保険事業の可能性調査を主導していました。その調査はうまくいったのですが、諸々の事情で事業自体クローズしてしまいました。しかし、マイクロ保険事業には社会的な意義があり、収益可能性も確認できていた

ので、現地のパートナーと話し合って私が彼らとともに事業を引き継ぎました。現在、この事業での日本からの投資を募っているところです。

## 信頼できる 現地パートナーシップ

もうひとつの柱としては、バングラデシュにはまだ日本の企業があまり進出していないので、現地

で培ったネットワークなどを使って日本企業のバングラデシュへの進出支援、ビジネス連携支援をしていきたいと考えています。

バングラデシュは1億6000万人の人口を抱えており、その大半が若年層なので今後の消費、内需に期待ができます。GDP成長率は10年以上に亘り7%を越え、安定的に伸びています。IT産業も盛んで、人口が多いのでエンジニアの数も揃っており、人件費も東南アジアと比べて安い。さらに、これまでのJICAによるインフラ投資などによる貢献が政府関係者から地方の人々に至るまでよく知られていることもあり、アジアで一番と言えるほどの親日国です。日本製品への信頼感も強く、日本企業がビジネスをするには、アジアの中でも非常にやりやすい国ではないかと思っています。

また、弊社には信頼できる現地のパートナーがいるという強みがあります。彼らはJICA事業を通じて組んだパートナーであり、JICAによる監査を経てお墨付きを得たしっかりしたパートナーです。一人は現地財閥UGIグループの2代目代表であるザキール氏。私と同じ40代で、同国のこの先50年を支えるネクストリーダー世代の一人です。同氏の紹介で現地の主要産業、成長産業を担っているネクストリーダーたちと多くのつながりができました。もう一人がマイクロファイナンス機関ANTAR創始者のエムラヌル氏。業界団体の議長を務めるなど、マイクロファイナンス業界の顔ともいえる方です。同国には700余りのマイクロファイナンス機関があ

り、約3500万人の会員を抱える一大産業を形成しています。マイクロファイナンスのみならず様々な社会開発事業を通じて、貧困層の生活を支え、向上させる重要な存在となっています。弊社は、こういったネットワークを活用した支援などを含め、日本企業へご提案することが可能です。

## 日本の技術や経験で 新興国の社会課題を解決

今後、マイクロ保険事業に関しては、バングラデシュで進めつつ事業をビジネスモデル化し、他国展開も想定しています。いまはJICAで調査を行っていた開発コンサルタント会社と共に、JICAへエジプトでのマイクロ保険事業の展開を提案しているところです。

私は金融業界が長かったこともあり、金融を通じて人々の生活の安定化と向上にどれだけ貢献できるかを会社の理念としています。金融は、産業自体そのものが価値を生むわけではなく、保険によって人々の生活保障をし生活の安定化を支援したり、融資によっていろ

いろな産業を育成、支援するわけです。新興国は著しい経済成長の一方で、社会課題もまだまだ併存しています。経済成長への支援とあわせて、社会課題については日本の技術やこれまでの経験を活かして効率的に解決していくことも提案していきたいと考えています。

アジクルという社名は、アジア・ビークル・フォー・メイキング・グッド・サイクルの略で、アジアにおける好循環を作るための媒介、手段という意味。そういう存在になりたいと思っています。



パートナーとともに。左より、Zakir氏/UGI、Emranul氏/ANTAR、Shahidul氏/UDDIPAN、渡辺。



マイクロ保険事業の開始セレモニーにて。保険契約者第1号に保険通帳を授与。

企業名：株式会社アジクル  
TSR 企業コード：01-864357-4  
事業内容：マイクロ金融・保険事業開発、途上国事業開発、連携支援  
設立：2016年7月  
住所：〒185-0024  
国分寺市泉町2-5-2-409  
TEL：090-6169-4564  
WEB：https://www.aji-cle.co.jp/



発展途上国の貧困層を保険事業で救う